

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		AIJYU松沢				公表日 令和7年2月28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・くつろぎルームやプレイルーム、相談室、学習室を利用して過ごしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・スタッフ配置数以上の数で対応しています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	2	・工作や学習をくつろぎルームで、体を動かすときはプレイルームと区別化を意識して取り組んでいます。	・スロープが玄関外にはあるが、施設内はバリアフリーになっていません。手すりを検討していきたいです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	点検を毎日して環境を整えています。活動の空間はミーティングで話し合いをして考えています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・クールダウン出来る場所を設けています。 ・個別支援を行う際、学習室、静養室などの空間を使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	1	・話し合いや相談をする機会を設けて、全員が共通理解できるようにしています。	・ミーティングで時間を設けてはいるが、行事、長期休暇など変則的なスケジュールの際時間が取れないことがあります。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・業務改善にすぐに対応しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・毎日職員が業務の前に集まり、ミーティングを行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4		・外部評価は行っていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・様々な外部研修や、施設内で時間を設けて全員で研修を受けています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1	・利用者の事を考え、スタッフ全員で支援プログラムを考えています。	・プログラムの内容の質の向上や代替案の検討をしていきたいと思っています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8	0	・毎日、活動の結果を評価。不適切な行動があった場合は、その行動だけにとらわれず、丁寧にアセスメントを行って対応方法を検討しています。保護者へは、簡単なアンケートを行い、支援計画の面談で、ご意見、ご希望等を聞いて計画に反映させています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・ミーティング後に子どもたちに対する検討をスタッフで行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	1	・計画に沿って支援できるようにミーティングなどで情報共有しています。	・計画はミーティングで時間を設け、情報共有はできているが、実践では、取り組みずにいる場面があるため職員間での声かけが必要と感じました。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・利用者の状態によって適応行動の変化があるため、5W1Hをもとにケア記録を取り、把握しています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	・モニタリングやアセスメントを定期的に行い、支援内容を設定しています。	・本人支援の重視により、移行支援、地域支援の具体的な内容をもっと深く明確にする必要があると感じています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・スタッフで話し合って決めています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・発達や状況に応じた課題設定になるように、日々職員間で確認しながら行っています。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・工作活動等個別で、運動遊びの中で集団を考慮しています。	・集団活動が多い中での、個別活動にももう少し力を入れていきたいと思っています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和7年2月28日				
AIJYU松沢						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・朝のミーティングで活動内容や利用者さんの人数などの確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・送迎などもあり、時間が合わずその日に全員に共有できない事があるが、次の日の朝に情報共有は必ずしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・ご利用後に、ケア記録等を必ず入力しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・定期的に行い、全員がモニタリングで話した内容を共通理解することができています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	8	0	・くつろぎルームとプレイルームがあることで、組み合わせさせています。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・工作や手作りおやつなどでも、いくつかの中から選べるように工夫をしています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・会議などがあれば、子どもの状態を適切に説明し、判断し、対応できる最も精通したふさわしい者が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2	・主に相談員の話聞き、支援をしています。	・連携はしているが、さらに情報を共有すれば良いと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	1	・学校が開催する会議があれば出席します。また、保護者からの相談や子どもの状態を判断し、必要があれば保護者との相談、学校への訪問や情報交換などを行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1	・個別の事情や必要に応じて実施しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	1	・学校が開催する会議があれば出席します。また、保護者からの相談や子どもの状態を判断し、必要があれば保護者との相談、学校への訪問や情報交換などを行っています。	・現状、情報交換の場が少ないと感じます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	2	・専門機関の方に来ていただき、事業所内研修を行っています。	・研修を受ける機会をもう少し増やし、各職員の支援の向上を目指したいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		・計画を立てていきたいと考えているが、なかなか実行できていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5		・参加していません。機会があれば参加していきたいです。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・AIJYU松沢での様子、家庭での様子によって違いはあるが、共通理解をもとに取り組むように努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	・必要に応じて情報提供や相談を行っています。	・障害の理解や子どもの状態、支援方法等について、必要に応じて保護者の方への情報提供や相談対応等を行っているが、ペアレントトレーニングは行っていない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・契約時に説明させていただきます。また、不明な点は随時職員が説明させていただいております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・モニタリングの際、保護者の方としっかり話をしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8	0	・モニタリングの際、保護者の方としっかり話をしています。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		AIJYU松沢		公表日 令和7年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・希望に応じて相談を受け付けています。また、定期的なモニタリング時に相談の時間も設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3	5	・お茶会を設けて、保護者同士交流の機会を設ける支援をしています。	・保護者同士の連絡の場を作りたいと思っています。 ・季節ごとにお茶会を検討又、兄弟が参加できるようにも検討しています。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・相談や申し入れがあった場合は、すぐにスタッフと話し合い、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	1	・必要に応じて、連絡事項などの情報をおたよりやHUGを通して発信しています。また、行事や日々の活動をSNS等も活用しています。	・SNSで情報を外部に出す際、個人情報に注意し、職員のSNSのリスクの理解力が必要だと感じています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・個人情報を守るため、職員間で声をかけながら十分に注意しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・目で見て分かるように視覚的教材を用いたり、子どもたちが分かりやすいような言葉で伝える等、特性に合ったやりとりを心がけています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5	・近くの公民館祭りで作品を展示して参加しました。	・AIJYU松沢としての行事はないので考えていきたいと思っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・HUGやおたよりで知らせています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・災害時を想定した訓練を定期的に行っています。（感染、防犯、火災、地震）今後も継続していきます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	・保護者の方よりお知らせをいただいています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	1	・必要に応じて、服薬・投薬・緊急搬送先など取り決めに保護者と行います。 ・エビペンの使い方の研修を行いました。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・事業所内で研修を行い安全管理に努めています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	1	・Instagramなどを利用し、事業所内での様子を公開しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・危険な事例があった場合、報告書に記載しミーティングで共有し、注意していきます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	外部研修への参加の他、事業所内でも研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	0		・該当者なし	